

全国学力・学習状況調査の結果から見えてきた三重県の子どものための課題

8月1日付で、本年度の全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。

三重県の子どもたち（小6、中3）の平均正答率と全国の子どもの平均正答率は右のようでした。小学校では、2教科全てにおいて全国の平均正答率を下回り、中学校では、数学は全国の平均を上回っていたものの、国語と英語は下回っているという結果でした。

こうした傾向は、下の「全国平均との差の推移」のグラフからも明らかです。ただ、小学校では、全国との差が縮まってきている傾向が見られ、子どもたちのがんばりが成果として表れてきています。

各教科の平均正答率

【小学校】 2教科全てにおいて全国の平均正答率を下回る。

	国語	算数
三重県(全国との差)	66.9 (-0.3)	61.8 (-0.7)
全国	67.2	62.5

【中学校】 3教科中1教科において全国の平均正答率を上回る。

	国語	数学	英語
三重県(全国との差)	68.7 (-1.1)	51.3 (+0.3)	45.0 (-0.6)
全国	69.8	51.0	45.6

こうしたことから、グラフを含めた複数の情報を関連させて「分析的に見る力」に弱さがあると考えます。これからの社会は、莫大なデータから必要なデータを選び出し、それらを関連させて分析的に見ることが求められる時代です。国語の学習だけでなく、社会や理科、あるいは総合的な学習の時間の学習などの中で、データを関連させて「分析して見る力」を培っていく必要があることが明らかとなりました。

【算数】 平均正答率15.5%

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような②と③の2つの三角形をつくりまします。

上の②と③の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- ②の面積のほうが大きい。
- ③の面積のほうが大きい。
- ②と③の面積は等しい。
- ②と③の面積は、このままでは比べることができない。

左の問題は、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に、面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題です。この問題では、「三角形では、底辺の長さが高さが同じであれば、面積は同じである」ことが理解できていれば、どちらも面積は同じであることは容易に気がつきます。

ただ、一昨年度の問題に左のような三角形の面積を求める問題がありましたが、三角形の「高さ」を考えな

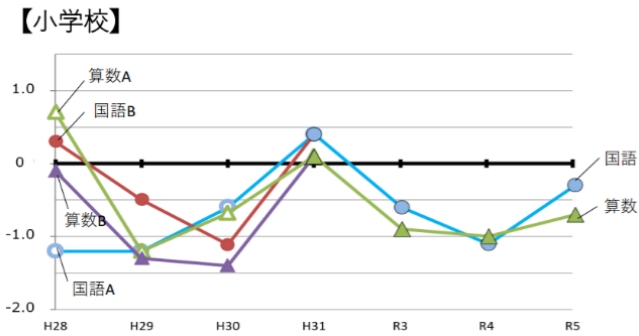
図1のような直角三角形があります。

(1) 図1の直角三角形の面積は何cm²ですか。求める式と答えを書きましょう。

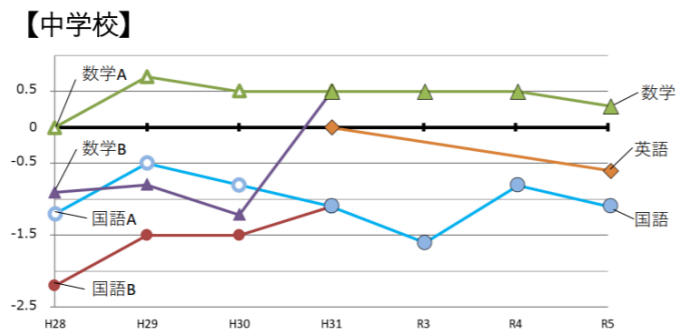
いで、「3×4×5」と回答している子どもがたくさんいました。

今回の問題では、テープの幅が三角形の「高さ」にあたりますが、そうした三角形の「高さ」そのものが理解できていない子どもも多くいたのではないかと思います。図形の学習は、「数や計算」のように年間を通して学習するものではない領域であるため、学力の定着のためには、時々、復習させることが必要です。

全国平均との差の推移



全国平均との差の推移



三重県の子どものための課題の結果からは、以下のような問題に弱さが見られ、本校の子どもたちにも同じような傾向が見られました。

【国語】 平均正答率26.0%

【カード④】

7月20日
[農家の石山さんのお話]
・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

10冊あたりの録音を取って同じ大きさのバケツに入れ、その個数を雑草の量とする。

左の問題は、カード④の説明とグラフを関連させて、農家の田んぼと比較して、学校の田んぼで取り組んだくめづく米作りの問題点と解決方法を文章で記述する問題です。

グラフから分かる「雑草の量が増え続ける」という学校の米作りの問題点を書いていなかったり、【カード④】から分かることを書いていなかったりした誤答や、グラフと【カード④】のいずれかの情報しか取り上げ

ていないために誤答となってしまった子どもが多かったです。

本校の子どもたちの成果と課題

本校の児童については、右のような結果でした。

国語	全国と比べてやや上回っている。
算数	全国と比べてほぼ同じである。

学校としては、全国学力・学習状況調査で測っている「学力」が、全ての「学力」を網羅するものではないとは思っていますが、学力の定着のために、子どもたちが、朝の学習や授業において、また、家庭での学習において、繰り返し復習を行ってきたがんばりの成果が、数値として表れたことは、自信としてほしいと思っています。

私は、④の角の大きさを20°にしました。切った三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。

私は、切った三角形を正三角形にするために、④の角の大きさをゆいさんとちがう大きさにして切りました。

切った三角形を正三角形にするには、④の角の大きさを何度にするればよいですか。答えを書きましょう。

ただ、左のように、半分に折った紙を切って正三角形を作る場合、角Aを何度にするかを考える問題では、問題場面を理解することなく、「正三角形の角度は60°」と短絡的に判断し回答する傾向が見られました。同じように、「資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと」と問われているにもかかわらず、一方しか書いていない子どもも多くいました。問題を読んで、問題場面や問われていることをとらえる力を、今後は培っていく必要があります。